

● 水彩画の描き方を「いろは」から



7月下旬と8月上旬の水・土曜日に、サンパーク奥富で「はじめての水彩画教室」が全2回の日程で行われました。参加者は、絵や配色のバランス、細かな絵筆の使い方などを真剣な面持ちで聞き、水彩画に取り組んでいました。

● 手作りおもちゃは楽しいね

8月9日、第二児童館で「キラキラしゃぼん玉を作ろう」が行われました。キラキラテープを棒につけてくるくる回すと、あら不思議！きれいなしゃぼん玉になりました。



狭山の今昔物語 Vol.5 - 入曽交差点 -

県道川越入間線と所沢狭山線が交わるところが入曽交差点です。昭和40年ごろは、未舗装の状態でしたが、近くに入曽駅や入間小学校(本年3月閉校)などがあり、狭山市が住宅都市として発展したことも伴って、インフラ整備が早く進みました。



交差点から川越方面を見る昭和40年ごろ)



当市と所沢・川越・入間を結び、車が頻繁に往来する交差点です。

さやまの教育

元気な

さやまっ子



智光山公園で英語サマーキャンプ

8月3日～5日に、智光山荘、勤労福祉センター、こども動物園などを拠点に「狭山市小中学生英語サマーキャンプ」が開催されました。



キャンプでは、グループワーク、フィールドワーク、ゲームなどにすべて英語で取り組みました。ALTがユーモアをまじえながら優しくリードしてくれたのに加え、新しい友だちも増え、不安な表情だった小・中学生20名の参加者は、最終日には自信に満ちあふれた顔で英語の発表ができました。

AEDに挑戦 児童生徒体験教室

7月21・22日(木・金)に、社会、英語、算数・数学、理科の児童生徒体験教室が、延べ200名を超える参加者で行われました。それぞれの教科の楽しさや不思議さをたっぷり味わうことができ、「苦手だったけれど好きになった。来年も参加したい」と満足した表情で終えることができました。

7月25日には、中学2年生を対象に救命講習会が開催されました。参加した53名の生徒は、心肺蘇生法やAEDの使い方などを学びました。

生徒からは、「本当に使う場面があったら使えるようにしたい」「人の命を救いたい」といった頼もしい言葉が聞けました。



夢に向かってチャレンジ！ 学力向上プロジェクト「夢チャレ学習会」

市教育委員会では「子どもたちの学力を市民との協働のもとに高めていこう」をコンセプトに掲げ、地域の学生やボランティアなどの協力を得て、学力向上のためのプロジェクトを実施しました。小学校算数の基礎的計算力の向上に焦点を絞り、小学5・6年生の希望者を対象に、8月22・24・26日(月・水・金)教育センター、入間川小、入間野小、柏原小で行われました。



●「入曽はやおき体操会」の公開イベント



8月6日、入曽多目的広場で、同会主催の公開イベントが行われました。参加した150名の老若男女が、武蔵野学院大学教授の輪島直幸先生の指導のもと、狭山市オリジナル「すこやか体操」などで、世代間交流を楽しみました。

● ペットボトルで楽しくエコ工作

8月23日、広瀬公民館で「夏のエコ工作講座」が開かれ、再生化エネルギーに関する講演とエコ工作「ペットボトルアクアリウム」で、環境問題を楽しみました。



● 皆さん、本を大切に扱いましょう

8月24・25日(水・木)中央図書館で「体験！1日図書館員」が行われました。本の整理や貸し出し、返却の受け付けを体験し、図書館員として仕事の楽しさや厳しさを学びました。



● 力を合わせてやり遂げました



8月1・2日(月・火)智光山公園のキャンプ場で、狭山市子ども会育成会連絡協議会と日高市の合同サマーキャンプが行われました。子ども達は、野外炊事やキャンプファイヤーに協力して取り組み、夏のよい思い出を作りました。

● 全身を使ったスポーツに挑戦！



8月22日～24日に、東京家政大学狭山校舎で、「夏休みスポーツ体験教室」が行われました。参加した狭山市と人間市の小学生33名は、トランポリンやバランスボールなど、初めて挑戦するスポーツに汗を流していました。



好みの画材で絵画の制作を楽しんでいます

Hello ハロー 仲間たち

Vol.360

狭山台絵画同好会

私たちのサークルは、25年ほど前に狭山台公民館で開催された絵画教室をきっかけに有志が集まってできたサークルです。現在は、当時から会員3人を含む絵の好きな男女12人が、金曜日の午前中に和気あいあいと楽しく活動しています。

この会の特徴は、初心者からベテランまで個人の技量に合わせた指導が受けられることです。これは、講師の力によるところが大きく、どなたでも気軽に絵画の世界に飛び込むことができるし、油彩・水彩・パステルなど好きな画材を選べるのも魅力ではないかと思っています。

絵を描くときにデッサンが大切なのは当然です。しかし、講師は、きれいな絵を描こうとしなくていいんです。個性で描きましょう、とも言います。基礎はしっかり押さえながら、その後は、自由な発想で描くことが大事だと教えてくれます。

絵画は、どこにいても一人で描けます。そのためにも、私たちの仲間になって、基礎から学んでみませんか。
問合せ 音部勝男さんへ

2956 1598